



NPO法人がケアセンターと一緒に 効果的なアニマルセラピーを展開

企業との協働
高齢者支援



NPO
法人

セラピードッグ
すまいるわん

(熊谷市)

企業

デイサービス・ショートステイ
熊谷南ケアセンターそよ風

(株式会社ユニマツそよ風)

(熊谷市)

NPO法人では、介護施設に通う高齢者の心の安定を促進するために、セラピー犬との触れ合いを通じたレクリエーションを提供している。

施設内でのアニマルセラピーの活動は、生活の質（QOL）の向上だけでなく、セラピー犬に触れようと手を伸ばしたり、体を動かそうとする事が日常生活動作（ADL）の向上にもつながっている。

協働のきっかけ

趣味活動（生活を楽しむこと）を通して自立支援をする企業では、かねてよりアニマルセラピーについて興味を持っていた。

地元でアニマルセラピー活動をしているNPO法人に、説明やデモンストレーションを依頼。安全性や実施場所の環境等を協議し、アニマルセラピーを効果的に活用出来るよう2ヶ月に一度、施設で高齢者を対象に犬を使ったアニマルセラピーを実施している。

協働のメリット

NPO
法人

定期的にアニマルセラピーを実施することで、施設の職員や高齢者の家族へ動物たちがもたらす効果を知ってもらうことができる。

またセラピー犬との触れ合いを通じて、動物愛護の気持ちを持ってもらうことができる。



セラピー犬

企業

高齢者がセラピーを楽しむだけでなく、犬の話をきっかけに積極的に会話に加わったり、多くのことを語るようになった。

普段のレクリエーションでは受動的になりがちな高齢者も、アニマルセラピーには積極的に参加し、リハビリとしての効果もみられる。

苦労・工夫したこと

NPO
法人

NPO法人では、飼主と犬のペアが認定試験・衛生検査をクリアした上で、アニマルセラピーを行っているので、福祉施設の要望に応えるだけのセラピー犬を準備出来ない。

短時間でも効果的なセラピー効果を出せるように会員向けの勉強会を行うとともに、セラピー犬を増やせるように育成教室を実施している。

企業

高齢者の変化や気がついた点を記録し、NPO法人とのミーティングを重ねることで、セラピーの効果を自立支援につなげている。

また、犬が苦手な人もいますので、初めてセラピーを体験する人には、不安を与えないよう職員が寄り添うようにしている。



キーワード アニマルセラピー